



# 《災害時の避難所についての探求》

## 行政の取り組み

避難場所における安全と衛生面の確保に向けて

---

環境ツーリズム学部 T20002

赤羽ゆいり



# 取り組みの理由

---

ストレスの少ない避難所生活

対象：女性、乳幼児

各自治体が衛生面において安全対策を施しているか

ニュースで目にする光景…物資の調達が間に合わない、困っているという声

→女性、子どもへの配慮はできているか



# 今回の発表内容

---

- ◆ 上田市・青木村の主な避難所対策と課題
- ◆ 住民自治組織について



# 上田市の主な対策

上田市役所担当者とのヒアリングを通して

---

## ○プライバシーの確保

子供や女性のための控室

災害時簡易仕切りテントの設置

## ○物資（衛生面における）の備蓄

各避難所の備蓄倉庫にて保管

期限切れのものは対策時のサンプル品、または  
「フードドライブ」へ寄付



# 課題

---

- ◆ 避難生活の長期化による防犯対策
- ◆ 避難所での対応
- ◆ 避難者の健康チェック



# 青木村の主な対策「自助・共助」

青木村村長、村役場及び 保健センターの担当者とヒアリング

---

- ◆ 村の旅館を緊急避難場所として指定
  - ◆ 「公助に頼らない」
  - ◆ 住民に、自助と共助を心掛けるよう呼びかけ
  - ◆ 物資は各自で用意
- 物資にかかる費用、物資の取り換えで  
備蓄に限界がある

# 一見良さそうに見えるが... その1(指定避難所)



# 一見良さそうに見えるが... その2(青木村保健センター)



建物の前にある  
坂道、  
荷物を持つての避  
難する際や、足腰  
が弱い方には  
大変...





# 現地から分かったこと

---

- ◆避難場所の設備、避難所に辿り着くまでの道路、周辺
- ◆青木村は8割が山林、土砂災害や鉄砲水の発災の恐れ

→現実的に見ていくと、データだけでは分からないことがある



# 上田市と青木村

---

上田市

平成大合併 1市2町1村の合併

人口3万5千人増

◎ネットワーク・資金・関係者の確保

△薄い危機感

青木村

単独を選択 人口4万3千人

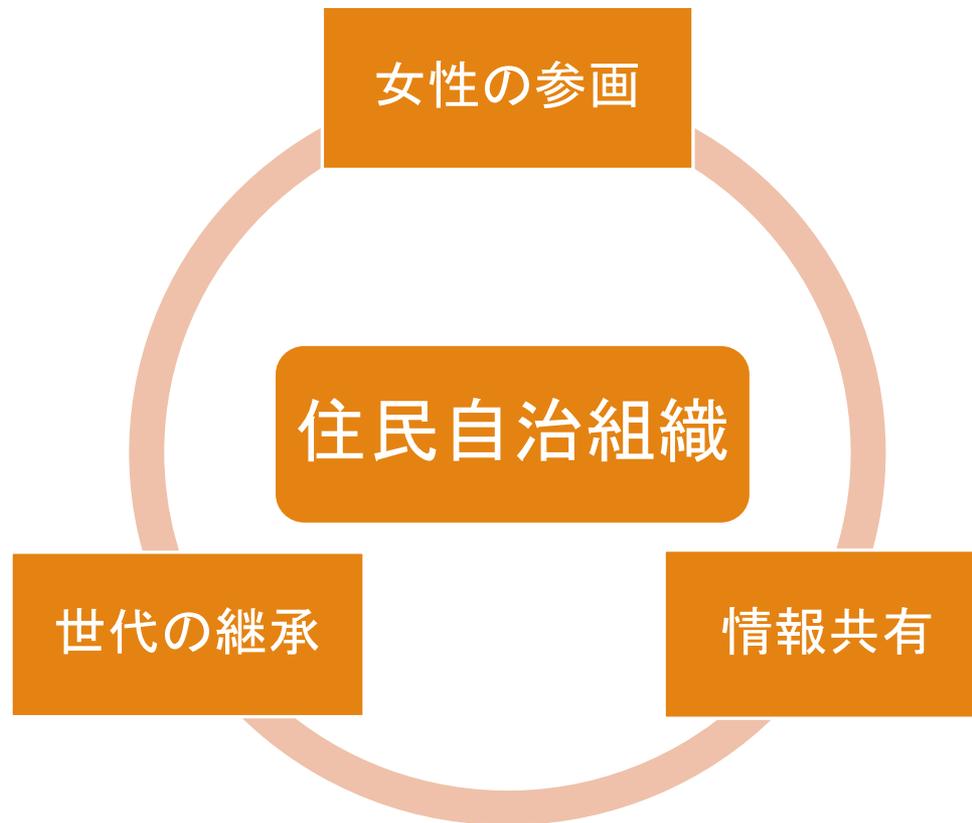
◎行政と住民の距離が近い

△資金・人員が少ない

# 住民自治組織について

: 住民が主体となって地域を支える

---





# 探求テーマとのかかわり

---

- ◆ 防災対策を考えるには、まちの行政と住民の相互が協力していくことが必要
- ◆ 住民自治組織が協働し、地域の自立をめざす



# 今後の課題

---

- ◆ ハザードに沿った避難場所を歩いてみる
- ◆ 住民が行政に提案できる道を拓く  
例:「ヒヤリハット」報告ができるルートを作る
- ◆ 女性の参画

ご清聴ありがとうございました

---